令和3年旭市議会第4回定例会会議録

議事日程（第1号）

令和3年11月9日（火曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
 - 第 2 議長報告事項
 - 第 3 会議録署名議員の指名
 - 第 4 会期の決定
 - 第 5 議案上程
 - 第 6 提案理由の説明並びに政務報告
 - 第 7 議案の補足説明
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
 - 日程第 2 議長報告事項
 - 日程第 3 会議録署名議員の指名
 - 日程第 4 会期の決定
 - 日程第 5 議案上程
 - 日程第 6 提案理由の説明並びに政務報告
 - 日程第 7 議案の補足説明
-

出席議員（18名）

1 番	崎 山 華 英	2 番	永 井 孝 佳
3 番	井 田 孝	4 番	島 田 恒
5 番	片 桐 文 夫	6 番	平 山 清 海
7 番	遠 藤 保 明	8 番	林 晴 道
9 番	宮 内 保	11 番	飯 嶋 正 利
12 番	宮 澤 芳 雄	13 番	伊 藤 保
14 番	島 田 和 雄	15 番	伊 藤 房 代

16番 向後悦世

17番 景山岩三郎

18番 木内欽市

19番 佐久間茂樹

欠席議員（1名）

10番 高木寛

説明のため出席した者

市長 米本弥一郎

副市長 飯島茂

教育長 諸持耕太郎

秘書広報課長 椎名実

総務課長 宮内敏之

企画政策課長 小倉直志

財政課長 山崎剛成

市民生活課長 八木幹夫

保険年金課長 穴澤昭和

環境課長 高根浩司

商工観光課長 加瀬博久

教育総務課長 杉本芳正

生涯学習課長 伊藤弘行

体育振興課長 柴栄男

事務局職員出席者

事務局長 花澤義広

事務局次長 向後哲浩

開会 午前10時 5分

○議長（木内欽市） おはようございます。

ここで、会議を開会する前にあらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思います。

◎日程第1 開 会

○議長（木内欽市） ただいまの出席議員は18名、議会は成立いたしました。

これより令和3年旭市議会第4回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 議長報告事項

○議長（木内欽市） 日程第2、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思います。

◎日程第3 会議録署名議員の指名

○議長（木内欽市） 日程第3、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

5番、片桐文夫議員、6番、平山清海議員、以上の2議員を指名いたします。

◎日程第4 会期の決定

○議長（木内欽市） 日程第4、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から11月29日までの21日間といたしたいと思いを。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（木内欽市） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から11月29日までの21日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

○議長（木内欽市） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第17号までの17議案であります。

配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（木内欽市） 配付漏れないものと認めます。

議案等説明のため、市長、副市長、教育長ほか、関係課長等の出席を求めました。

◎日程第5 議案上程

○議長（木内欽市） 日程第5、議案上程。

議案第1号から議案第17号までの17議案を一括上程いたします。

議案第 1号 令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について

議案第 2号 旭市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

議案第 3号 旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第 4 号 旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5 号 旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 6 号 旭市育英基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 7 号 旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 8 号 旭市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 9 号 旭市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 10 号 旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 11 号 旭市青年の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 12 号 旭市過疎地域持続的発展計画の策定について
- 議案第 13 号 東総地区広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 議案第 14 号 市の境界変更に伴う財産処分に関する協議について
- 議案第 15 号 市の境界変更について
- 議案第 16 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 17 号 専決処分の承認について（令和 3 年度旭市一般会計補正予算）

◎日程第 6 提案理由の説明並びに政務報告

○議長（木内欽市） 日程第 6、提案理由の説明並びに政務報告。

提案理由の説明並びに政務報告を求めます。

市長、ご登壇願います。

（市長 米本弥一郎 登壇）

○市長（米本弥一郎） 本日、ここに令和 3 年旭市議会第 4 回定例会を招集し、当面する諸案件についてご審議を願うことといたしました。

初めに、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第 1 号は、令和 3 年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出にそれぞれ 4 億 4,300 万円を追加し、予算の総額を 320 億 500 万円とするものであります。

議案第 2 号は、旭市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

でありまして、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行により、干潟地域が過疎地域に指定されたことに伴い、当該地域の事業者が行う設備投資等に係る固定資産税の課税免除について必要な事項を定めるものであります。

議案第3号は、旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第4号は、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、いずれも一般職の職員の給与改正にあわせて所要の改正を行うものであります。

議案第5号は、旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてでありまして、人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づき、所要の改正を行うものであります。

議案第6号は、旭市育英基金条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、基金の処分についての規定を追加するため、所要の改正を行うものであります。

議案第7号は、旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、健康保険法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第8号は、旭市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、名義貸しや事業型墓地等の無秩序な開発行為の防止を図るため、現行の条例に周辺住民への説明責任の明確化や、事前協議等の規定を追加するため、所要の改正を行うものであります。

議案第9号は、旭市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、老朽化し、新耐震基準に適合していない旭市民会館と旭市青年の家の機能を、旭第二市民会館に移転することに伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第10号は、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、老朽化に伴う飯岡庭球場の廃止及び令和4年度に竣工を予定しております旭市サッカー場の設置に関し、所要の改正を行うものであります。

議案第11号は、旭市青年の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定についてでありまして、旭市青年の家の機能を旭第二市民会館に移転することに伴い、本条例を廃止するものであります。

議案第12号は、旭市過疎地域持続的発展計画の策定についてでありまして、本年4月1日に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことに伴い、本年度から令和7年度までの5年間を期間とする市町村計画を新たに策定するため、同法の規定により議

会の議決を求めるものであります。

議案第13号は、東総地区広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでありまして、令和4年2月1日から組合の事務所の位置を現在の旭市ハの612番地1の東総振興センターから、旭市高生1番地の旭市海上庁舎に変更することに伴う規約改正を行うにあたり、あらかじめ関係地方公共団体の議会の議決を求めるものであります。

議案第14号は、市の境界変更に伴う財産処分に関する協議についてでありまして、県営土地改良事業による市の境界変更に伴う財産処分を匝瑳市と協議のうえ定めるため、地方自治法第7条第6項に基づき、議会の議決を求めるものであります。

議案第15号は、市の境界変更についてでありまして、春海地区土地改良事業及び豊和地区土地改良事業に伴い、旭市と匝瑳市との間に境界変更の必要が生じたため、千葉県へ申請するにあたり、地方自治法第7条第6項に基づき、議会の議決を求めるものであります。

議案第16号は、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについてでありまして、現委員のうち、令和4年3月31日をもって任期満了となる委員の後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものであります。私は、加瀬多喜男氏が適任であり、再度お願いしたいと考え、提案するものであります。

議案第17号は、専決処分の承認についてでありまして、令和3年度旭市一般会計補正予算(第6号)について、新型コロナウイルス感染症対応に伴う、就学前児童応援臨時給付金給付事業及びいいおか保育所と総合体育館の改修工事に係る経費について専決処分を行ったため、その承認を求めるものであります。

次に、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナワクチン接種については、旭中央病院及び市内医療機関にご協力をいただき、順調に進んでまいりました。現在、市民の約8割の方の2回接種が終了しております。このため、11月6日をもちまして集団での接種を終了し、今後は市内協力医療機関での個別接種へと移行いたしました。

次に、市独自の支援策について申し上げます。

旭市農水産業経営支援給付金については、10月末現在、98件、980万円の給付を決定したところであります。

旭市中小企業等経営継続給付金については、10月末現在、215件、2,150万円の給付を決定したところであります。

旭市新生児特別定額給付金については、10月末現在、191件、1,910万円を支給しました。

また、旭市就学前児童応援臨時給付金として、市内に住民登録のあるゼロ歳から就学前までの児童を対象に、生活様式の変更を伴う乳幼児の子育て世帯を早急に支援するため、1人当たり3万円を給付することとし、本定例会に関連する議案を提出して審議をお願いしております。

市内小・中学校の学校給食費の6か月間免除については、10月分から実施を始めました。

旭市市外小中学校等在学児童生徒臨時給付金については、10月末現在、対象児童・生徒118名のうち、108名分の申請を受付したところであり、今月中に第1回目の支給ができるよう事務を進めております。

なお、国の子育て世帯生活支援特別給付金の「ひとり親世帯分」については、10月末現在、723件、3,615万円、「ひとり親以外の低所得の子育て世帯分」については、657件、3,285万円を支給しました。

今後も各種給付金等の周知徹底を図り、迅速な支給事務に努めてまいります。

次に、この機会に市政の近況についてご報告いたします。

初めに、農業について申し上げます。

水田農業については、需要に応じた米づくりの実現に向けて、主食用米から飼料用米への転換を推進した結果、本年の作付面積は約598ヘクタールとなり、昨年と比較して約170ヘクタール増加しました。今後も、引き続き国・県と連携して、稲作経営の安定を図ってまいります。

畜産については、他県において豚熱の感染が確認されております。また、渡り鳥の飛来シーズンを迎え、高病原性鳥インフルエンザの発生も危惧されますので、引き続き各農場における防疫対策の徹底を働きかけてまいります。

次に、観光について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症で停滞した市内観光業の振興策として、11月1日から市内の宿泊施設に観光目的で宿泊される方、先着1,000名を対象に、1人1泊2,000円を助成する「冬の旭へ行こう！宿泊助成キャンペーン」をスタートしました。

また、商工会青年部によるスターライトファンタジーが、海上公民館周辺を会場に12月1日から来年1月15日まで、飯岡灯台のライトアップについては、12月1日から来年2月28日まで開催いたします。

いずれも、感染防止対策を遵守し、多くの方に安心して楽しんでいただけるよう努めてま

います。

次に、義務教育施設の整備について申し上げます。

令和2年度からの繰越事業であります小・中学校のトイレ洋式化工事については、10月末に全ての契約締結を終え、工事に着手しているところであります。

また、令和4年度に実施を予定しておりました第二中学校の特別教室棟大規模改造工事については、国の学校施設環境改善交付金が本年度事業として採択を受けたことから、工事に関係する補正予算を本定例会に提案したところでございます。

次に、学校教育について申し上げます。

タブレット端末を活用したICT教育については、ICT支援員が10月から本格的に各学校に入り、教職員をサポートしながら、授業等での積極的な活用を進めております。今後は、長期にわたる臨時休業等に備えた、オンライン授業の実施体制の整備に向けて、課題と対策について検討を進め、取り組んでまいります。

次に、生涯学習について申し上げます。

成人式については、昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、本年度は感染防止対策を講じた上で、来年1月9日に東総文化会館大ホールにおいて開催する予定です。

大原幽学記念館については、サツマイモ栽培の普及・発展に貢献した穴澤松五郎先生の企画展を10月1日から12月19日まで開催しております。10月11日には、関係者をお招きして内覧会を開催いたしました。

次に、スポーツ振興について申し上げます。

例年10月に開催し、大勢の参加者でにぎわう向太陽杯パークゴルフ大会については、来年3月に延期いたしました。

また、11月に予定しておりました健康体力づくりフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、市民の安全・安心を最優先とするため、中止といたしました。

次に、市道の整備について申し上げます。

旭中央病院アクセス道の整備については、国道126号の交差点部分の改良工事について、9月に契約を締結したことから、全線開通に向けて、工事の進捗を図ってまいります。

飯岡海上連絡道三川蛇園線の整備については、JRの鉄道横断のトンネル部の函体工事について、順調に進捗しております。また、国道126号の交差点部の改良工事については、発注の準備を進めております。

次に、排水整備について申し上げます。

冠水対策整備事業については、10月に旭地域イ地先の排水路整備工事の契約を締結し、年度内の完成を目指しております。

蛇園南地区流末排水整備事業については、面整備としての排水路整備工事を実施しており、順調に進捗しております。

次に、交通安全対策について申し上げます。

第11次旭市交通安全計画については、千葉県交通安全計画に基づく本市の交通安全施策の指針として策定しました。

この計画は、本年度から令和7年度までの5年間の計画期間とし、人命尊重の理念の下、総合的かつ長期的な交通安全施策を実施し、交通事故のない、安全で安心な、いきいきと暮らせる旭市の実現を目指して定めたものであります。

今後は、本計画に基づき、交通実態に即した交通安全対策に取り組んでまいります。

次に、総合戦略について申し上げます。

総合戦略については、進行管理を行うためのPDCAサイクルの一つとして、昨年度の事業効果の検証等を行いました。

今後は、総合戦略に掲載している重点戦略の事業効果について、市民の代表者等で構成される旭市総合戦略推進委員会を開催し、委員の皆様からご意見等を伺うとともに、評価に係る意見や市の対応等の概要を公表する予定です。

引き続き、幅広く意見等を伺いながら、人口減少対策の推進や持続可能な社会基盤の構築を図り、将来都市像の実現に向けて取り組んでまいります。

次に、旭市過疎地域持続的発展計画について申し上げます。

これまでの策定経過については、計画を策定するに当たり、全庁を挙げて策定作業を進め、千葉県との事前協議、計画素案に対するパブリックコメントを実施し、提出された意見と市の考え方については、市のホームページに掲載いたしました。

このたび千葉県との協議が調い、本定例会に関連する議案を提案いたしましたので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

次に、生涯活躍のまち・あさひ形成事業について申し上げます。

本事業については、現在、事業者により商業施設に係る建設工事が施工されており、令和4年春のオープンに向けて、工事は順調に進捗しています。

商業施設の2階の一部を借り受け、市が設置する多世代交流施設「おひさまテラス」にお

いて展開するソフト事業については、指定管理者であるイオンタウン株式会社と検討しており、引き続き、より魅力的なものとなるよう協議を重ねてまいります。

あわせて、移住者を呼び込むための施策として、東京メトロ銀座駅スペースを活用しての市のPRやふるさと回帰フェアへの出展、移住セミナー等を開催しており、今後も、本市への移住のきっかけづくりや市の魅力を伝える情報発信を推進していきます。

以上、このたび提案いたしました案件の趣旨をご説明し、併せて市政の近況について申し上げます。詳しくは事務担当者から説明し、また質問に応じてお答えいたしますので、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（木内欽市） 提案理由の説明並びに政務報告は終わりました。

◎日程第7 議案の補足説明

○議長（木内欽市） 日程第7、議案の補足説明。

議案の補足説明を求めます。

議案第1号、議案第17号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 山崎剛成 登壇）

○財政課長（山崎剛成） 議案第1号、令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について及び議案第17号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

初めに、議案第1号の令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について、補足説明を申し上げます。

補正予算書をお手元をお願いしたいと思います。

1ページをお開きいただきたいと思います。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ4億4,300万円を追加し、予算の総額を320億500万円とするものであります。

第2条の繰越明許費、第3条の地方債の補正につきましては、後ほどご説明いたします。少し飛びまして、5ページをお願いいたします。

第2表、繰越明許費です。

10款3項中学校費、中学校大規模改造事業は、第二中学校特別教室棟の改修工事に係るもので、国の交付金の前倒し採択により実施する事業であるため、適正工期の確保が困難であ

ることから、繰越明許費を設定するものです。

6ページをお願いいたします。

第3表、地方債補正です。

上の表、地方債の追加は中学校大規模改造事業で、先ほど繰越明許費で説明いたしました第二中学校特別教室棟の改修工事に係る起債を追加するもので、限度額は9,950万円でございます。

下の表、地方債の変更は臨時財政対策債で、国の定める発行可能額に合わせて限度額を11億8,000万円から、本市の発行可能額である10億208万6,000円に減額するものであります。

少し飛んで、9ページをお願いいたします。

歳入について、順を追って説明いたしますが、事業内容につきましては歳出のところで説明させていただきます。

10款1項1目地方交付税3億4,102万7,000円の増は、説明欄1、普通交付税の増で、普通交付税の留保額の残額を今回の補正財源として計上するものです。

14款2項1目総務費国庫補助金1,419万7,000円の増は、説明欄1、個人番号カード交付事務費補助金の増で、マイナンバーカードの管理及び予約システムの導入費用に対する補助金であります。

2目民生費国庫補助金201万1,000円の増は、説明欄1、子ども・子育て支援事業費補助金の増で、児童手当システムの改修費用に対する補助金です。

3目衛生費国庫補助金319万円の増は、説明欄1、感染症予防事業費等国庫補助金の増で、健診結果情報の標準化と連携システムの整備に対する補助金です。

5目教育費国庫補助金7,150万7,000円の増は、1節小学校費国庫補助金の説明欄1、学校保健特別対策事業費補助金306万円の増と2節中学校費国庫補助金の説明欄1、学校施設環境改善交付金6,733万2,000円の増と説明欄2、学校保健特別対策事業費補助金111万5,000円の増によるものであります。

このうち、学校保健特別対策事業費補助金は、小・中学校の新型コロナウイルス感染症対策用備品等の購入に対する補助金で、学校施設環境改善交付金につきましては、第二中学校特別教室棟の改修工事に対する補助金であります。

続いて、10ページをお願いいたします。

15款2項2目民生費県補助金407万1,000円の増は、説明欄1、ひとり親家庭等医療費等助成事業費補助金の増で、ひとり親家庭等に対する医療費等の助成に係る県の補助金です。

続いて、4目農林水産業費県補助金4,164万円の増は、説明欄1、水田自給力向上対策事業補助金の転作作物の作付等に対する補助金1,633万7,000円の増と説明欄2、農地集積対策交付金の農地集約化の事業に対する補助金230万3,000円の増、説明欄3、畜産環境対策総合支援事業費補助金の畜産環境対策の推進事業に対する補助金2,300万円の増によるものです。

続いて、18款2項1目財政調整基金繰入金4,377万1,000円の増は、今回の補正財源として財政調整基金からの繰入金を計上するものであります。

21款1項5目教育債9,950万円の増は、説明欄1、中学校大規模改造事業債で、第二中学校特別教室棟の改修工事に係る起債です。

6目臨時財政対策債1億7,791万4,000円の減は、国で決定した臨時財政対策債の発行可能額に合わせて予算額を減額するものであります。

歳入の説明は以上です。

続いて歳出になります。

12ページをお願いいたします。

1款1項1目議会費98万1,000円の減は、説明欄1、議員報酬155万6,000円の減及び説明欄2、議会関係職員給与費57万5,000円の増で、議員報酬は、人事院勧告等を踏まえた期末手当0.15月分の減でありまして、次の議会関係職員給与費は、人事異動等に伴う給料等の人件費の増となっております。

なお、以下の各款に計上しております人件費の補正につきましては、特別職も含め、人事院勧告等を踏まえた職員の期末手当の減額と人事異動等に伴う款ごとの人件費の組替えでございますので、説明は省略させていただきます。

ご覧の12ページの下段になります。

2款1項8目電子計算費745万2,000円の増は、説明欄1、電算システム運用事業の増によるもので、制度改正に伴う児童手当システムの改修費用及び自治体健診のデータの標準化と連携システムの構築に係る健康管理システムの改修費用です。

13ページをお願いします。

12目諸費7,816万4,000円の増は、説明欄1、国庫支出金等返還費の増によるもので、国・県支出金の精算に伴う返還金の増であります。

14ページをお願いします。

2款3項1目戸籍住民基本台帳費1,719万7,000円の増は、説明欄1の人件費の補正及び説明欄2、住民基本台帳事務費の増によるもので、マイナンバーカードの交付管理システムと

交付予約システムの導入に係る費用です。

少し飛びまして、17ページをお願いいたします。下段になります。

3款3項2目母子父子福祉費814万3,000円の増は、説明欄1、ひとり親家庭等医療費等助成事業の増によるもので、ひとり親家庭などに対する医療費等の助成について、当初予算より支給額が上回る見込みとなったことから扶助費等を増額するものであります。

19ページをお願いいたします。

4款1項2目予防費1億円の増は、説明欄1、新型コロナウイルス感染症対応空床確保支援事業によるもので、本市独自の新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルス感染症患者受入れのための空き病床の確保に対する県の支援事業に、市が交付金を上乗せして支給する事業に係る費用であります。

20ページをお願いいたします。

6款1項3目農業振興費4,257万6,000円の増は、説明欄1、水田農業構造改革推進事業4,027万3,000円の増で、飼料用米等の転作作物の作付面積の増加や県の補助単価の増などによる補助金を増額するものと、説明欄2、農地集積・集約化事業230万3,000円の増で、農地中間管理機構に農地を貸し付ける協力者の増加等による農地集積協力金を増額することによるものであります。

4目畜産振興費2,300万円の増は、説明欄1、畜産環境対策総合支援事業によるもので、畜産堆肥を利用しやすくするための加工用機械等の導入に対する県補助金の追加であります。

少し飛びまして、23ページをお願いいたします。

10款1項2目事務局費1,327万9,000円の増は、説明欄1及び説明欄2の person 費の補正と説明欄3、感染症対策・学習保障支援事業の増によるもので、新型コロナウイルス感染症対策や学習保障に関する小・中学校の備品等の購入に係る費用であります。

24ページをお願いいたします。

10款3項1目学校管理費2億33万2,000円の増は、説明欄1、中学校大規模改造事業の増によるもので、第二中学校特別教室棟の外壁・内装等の改修工事に係る費用です。

歳出の説明は以上です。

27ページをお願いいたします。

給与費明細書です。

1、特別職の表につきましては、表の下のほう、比較の行をご覧ください。

長等、こちらは市長、副市長、教育長であります、の期末手当34万8,000円の減と、そ

の下、議員の期末手当155万6,000円の減は、人事院勧告等を踏まえ、期末手当の年間支給率を0.15月引き下げることによる影響額です。

続いて、28ページをお願いいたします。

2、一般職、(1)総括の表です。

上の表の比較の行の右側、合計をご覧いただきたいと思います。

今回の補正では、人事院勧告等を踏まえた職員手当等の引下げによる影響額と人事異動等による増減額を見込んだ結果、一般職の合計は3,731万3,000円の減となっております。

給与費明細書につきましては以上です。

少し飛びまして、33ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書です。

左側の1、普通債の(7)教育債の行の左右中ほどをご覧ください。

補正額として9,950万円の増額となっております。こちらは、第二中学校特別教室棟の改修工事に係る起債でございます。

その下、3のその他の(3)臨時財政対策債は1億7,791万4,000円の減額となっておりますので、補正額合計では、一番下になりますが、7,841万4,000円の減となります。

これによりまして、令和3年度末の現在高見込額は、一番右下になりますが、316億3,479万2,000円となります。

以上で、議案第1号の補足説明を終わりにさせていただきます。

続きまして、議案第17号、専決処分の承認について、補足説明を申し上げます。

議案のほうをよろしく申し上げます。

こちらは、令和3年度旭市一般会計補正予算(第6号)です。

この補正予算は、新型コロナウイルス感染症に対する本市独自の支援策の一つである就学前児童応援臨時給付金給付事業などに係る経費につきまして、令和3年10月21日に専決処分いたしましたので、議会の承認を求めるものであります。

それでは、1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ1億2,500万円を追加し、予算の総額を315億6,200万円としたものであります。

第2条の地方債の補正につきましては、この後、ご説明いたします。

4ページをお願いしたいと思います。

第2表、地方債補正です。

社会体育施設改修事業は、今回の補正に計上した総合体育館の空調機更新工事に係る起債を追加するもので、限度額は580万円です。

また少し飛んで、7ページをお願いいたします。

初めに、歳入について説明いたします。

10款1項1目地方交付税1億118万8,000円の増は、普通交付税の留保額の一部を今回の補正財源として計上するものであります。

19款1項1目繰越金1,801万2,000円の増は、前年度繰越金の残額を今回の補正財源として計上するものであります。

21款1項5目教育債580万円の増につきましては、先ほど、第2表、地方債補正で説明したとおりでございます。

続いて、歳出について説明をいたします。

また、8ページをお願いしたいと思います。

2款1項8目電子計算費363万円の増は、説明欄1、電算システム運用事業で、新型コロナウイルス感染症に対する本市独自の支援策の一つである就学前児童応援臨時給付金給付事業に係る電算システム改修事業です。

3款3項1目児童福祉総務費8,294万2,000円の増は、説明欄1、就学前児童応援臨時給付金給付事業で、子育て世帯に対する支援としてゼロ歳から小学校就学前までの児童1人につき3万円の給付金の給付に要する費用であります。

9ページをお願いいたします。

3款3項6目保育所費3,061万3,000円の増は、説明欄1、公立保育所運営費で、いとおか保育所で発生した漏水により被害を受けた園舎の改修に要する経費です。

10款5項2目体育施設費781万5,000円の増は、説明欄1、社会体育施設改修事業で、指定避難所でもあります総合体育館の会議室等の空調機更新に要する経費です。

10ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書です。

左側の区分の1、普通債の(7)教育債の行の中ほど、補正額の列をご覧ください。

補正額を580万円増額しておりますが、内容につきましては、先ほどご説明いたしました総合体育館の空調機更新工事に係る起債であります。

以上で、議案第17号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第2号について、商工観光課長、登壇してください。

(商工観光課長 加瀬博久 登壇)

○商工観光課長(加瀬博久) 議案第2号、旭市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

令和3年4月1日の過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、過疎地域に指定された干潟地域において事業者の設備投資等に係る課税免除を行った場合、その減収分の一部が普通交付税として補填されることになりました。

本条例は、この事業を活用し、干潟地域の事業者を積極的に支援することで産業の振興を促進し、地域の持続的発展を図るものです。

それでは、条文に沿ってご説明いたします。

まず、第1条は、本条例の目的を定めるもので、対象となる業種や設備について規定するものであります。

第2条は、課税免除の対象となる事業者や設備投資の要件等に関する事項、第3条から第5条は、課税免除に必要な申請や措置の承継、取消し等について規定するものです。

附則については、本条例の適用期間中は、現行の旭市企業誘致及び雇用の促進に関する条例において課税免除をしない旨の条例の一部改正等について規定するものでございます。

以上で、議案第2号の補足説明を終わります。

○議長(木内欽市) 商工観光課長の補足説明は終わりました。

議案第3号から議案第5号までと議案第14号、議案第15号の5議案について、総務課長、登壇してください。

(総務課長 宮内敏之 登壇)

○総務課長(宮内敏之) 議案第3号から議案第5号までは、令和3年の人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づく期末手当の改正が主なものでありまして、関連しておりますので、一括して補足説明を申し上げます。

初めに、議案第3号、旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

新旧対照表の2ページをお願いいたします。

改正条例の第1条は、現行条例第5条における期末手当を改正するもので、令和3年12月期の期末手当の支給率を現行の100分の222.5から100分の207.5に改め、100分の15引き下げるものです。

これにより、年間支給率は100分の445から100分の430となります。

次に、3ページをお願いいたします。

改正条例の第2条関係は、ただいまの第1条関係と同じく、現行条例第5条における期末手当の改正でありまして、令和4年度以降の期末手当の支給率を、6月期及び12月期ともに100分の215に改め、年間支給率を100分の430とするものです。

なお、条例の施行期日は、令和3年度分を規定する第1条関係については令和3年12月1日とし、令和4年度以降を規定する第2条関係については令和4年4月1日とするものです。

次に、4ページと5ページになります。

議案第4号、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、ただいまの議案第3号と同様に、期末手当の支給率を改正するもので、改正内容も議案第3号と同様のものとなります。

続きまして、議案第5号、旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、ご説明申し上げます。

新旧対照表の6ページをお願いいたします。

改正条例の第1条関係です。

これは、現行条例第24条第2項中における期末手当を改正するもので、令和3年12月期の期末手当の支給率を現行の100分の127.5から100分の112.5に改め、100分の15引き下げるものであります。

これにより、一般職の期末・勤勉手当の年間支給率は、100分の445から100分の430となります。

次に、7ページをお願いいたします。

改正条例の第2条関係は、ただいまの第1条関係と同じく、現行条例第24条第2項中における期末手当の改正でありまして、令和4年度以降の期末手当の支給率を、6月期及び12月期ともに100分の120に改め、期末・勤勉手当の年間支給率を100分の430とするものです。

なお、施行期日は、議案第3号、第4号と同様であります。

次に、8ページと9ページをお願いいたします。

改正条例の第3条及び第4条関係で、旭市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正であります。

現行条例第8条第2項の特定任期付職員とは、弁護士等の高度の専門的な知識経験を有する職員でありまして、現在本市においては、このような任期付職員は採用しておりませんが、

千葉県と同様の条例を制定しておりますので、県に合わせた改正を行うものであります。

以上で、議案第3号、第4号及び第5号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第14号になります。

議案第14号、市の境界変更に伴う財産処分に関する協議について、補足説明を申し上げます。

市の境界変更に伴い、地方自治法第7条第5項の規定により、別紙のとおり、旭市と匝瑳市との境界変更に伴う財産処分について匝瑳市と協議するに当たり、同条第6項の規定に基づき議会の議決を求めるものでございます。

協議の内容ですが、県営土地改良事業である春海地区土地改良事業及び豊和地区土地改良事業の対象区域において、それぞれの市に編入する区域の土地のうち、それぞれの市が所有する財産について、どちらの市に帰属するかを定めた財産処分に関するものでございます。

処分する財産の内容ですが、隣接介在する道路及び水路等でございます。

なお、この効力は、境界変更の発生する日から生じるものでございます。

以上で、議案第14号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第15号になります。

議案第15号、市の境界変更について、補足説明を申し上げます。

県営土地改良事業で平成21年7月28日付で計画確定した春海地区土地改良事業及び平成24年1月5日付で計画確定した豊和地区土地改良事業が旭市と匝瑳市にまたがり施行されたため、境界変更の必要が生じたものでございます。

そのため、旭市と匝瑳市の境界を変更することを千葉県知事に申請するに当たり、議会の議決を求めるものでございます。

場所は、旭市秋田地先と匝瑳市大寺地先、春海地先、米持地先との境界周辺地区でございます。

土地改良事業の事業区域は、春海地区が141.1ヘクタール、豊和地区が183.9ヘクタール、合計325ヘクタールで、旭市と匝瑳市間で境界を変更する面積はそれぞれ24万477.25平方メートル、両市の面積の増減や人口の異動はございません。

なお、匝瑳市でも、同じ議案を来月開会予定の12月定例会において提出する予定でございます。

以上で、議案第15号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 総務課長の補足説明は終わりました。

会議の途中ですが、ここで11時20分まで休憩いたします。

休憩 午前11時 5分

再開 午前11時20分

○議長（木内欽市） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第6号について、教育総務課長、登壇してください。

（教育総務課長 杉本芳正 登壇）

○教育総務課長（杉本芳正） 議案第6号、旭市育英基金条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

現在、本条例では、基金の運用収益については旭市育英資金として給付することを定めておりますが、基金の処分についての規定がありません。

今回、基金のより有効な活用を進めるため、設置目的の「寄附者の意志を生かし有能な人材の育成を図るため」の事業である旭市育英資金の財源に充てる場合に限り、基金を処分することができるよう、所要の改正を行うものでございます。

改正内容でございますが、新旧対照表の10ページをお願いいたします。

表の左側、現行の第6条を、表の右側、改正案として第7条に改め、新たに第6条として、記載の1条を追加するものでございます。

なお、施行日については令和4年4月1日からとするものです。

以上で、議案第6号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 教育総務課長の補足説明は終わりました。

議案第7号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 穴澤昭和 登壇）

○保険年金課長（穴澤昭和） 議案第7号、旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本案は、健康保険法施行令の一部が改正されたことに伴い、旭市国民健康保険条例第5条の出産育児一時金について、所要の改正を行うものです。

初めに、出産育児一時金の給付内容について申し上げます。

この給付は、旭市国民健康保険に加入している被保険者が出産した場合に、1児につき、現行では40万4,000円と産科医療補償制度の掛金1万6,000円を加算して総額42万円を支給し

ているものです。

この産科医療補償制度については、分娩に関連して発症した重度の脳性麻痺の新生児やその家族に対して経済的負担を補償するものです。

それでは、お手元の新旧対照表の11ページをお願いいたします。

改正の内容は、出産育児一時金の額を現行の40万4,000円から40万8,000円に改めるものです。

改正の趣旨につきましては、産科医療補償制度の掛金が令和4年1月1日より1万6,000円から1万2,000円に引き下げられることになり、それにより支給総額も4,000円の減額になるわけですが、出産育児一時金の給付については、社会保障審議会医療保険部会において、少子化対策としての重要性に鑑み、支給総額は42万円を維持すべきとされたことを踏まえたことによるものです。

なお、産科医療補償制度の掛金については、新旧対照表の条文中の2段目、ただし書きにあります3万円を上限として加算しているものです。

この加算については、旭市国民健康保険条例第5条の規定による出産育児一時金の加算に関する規則に規定されておりますので、併せて改正を行います。

条例の施行期日は令和4年1月1日となります。

以上で、議案第7号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 保険年金課長の補足説明は終わりました。

議案第8号について、環境課長、登壇してください。

（環境課長 高根浩司 登壇）

○環境課長（高根浩司） 議案第8号、旭市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

近年、墓地を取り巻く社会情勢が大きく変化し、新たな墓地形態が普及し始めております。墓地等の立地については、その公益性の高さから、立地の妥当性、経営経過の適格性、宗教法人としての活動実績や経営能力が求められており、また、名義貸しや事業型墓地等の無秩序な開発行為の防止を図るため、現行の条例に周辺住民への説明責任の明確化や事前協議等の条文を新たに加えるなど、所要の改正を行うものであります。

主な内容といたしまして、現行の旭市墓地等の経営の許可等に関する条例から、変更及び追加となる箇所を8点ほど申し上げます。

それでは、お手元の新旧対照表の12ページをご覧ください。

まず、1点目は、第1条の趣旨に記載がございます根拠法令を「千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」から「墓地、埋葬等に関する法律」に改めます。これは、平成13年に墓地等の経営の許可等に係る権限が千葉県から市町村に移譲されたことによるものです。

2点目は、同じく12ページに記載があります第3条に事前協議についての条文を追加するもので、墓地等の経営又は変更の許可の申請をしようとする者は、当該墓地等の工事着工前に市長と協議しなければならないものとします。

3点目は、同じく12ページから13ページに記載があります第4条に経営等の計画の周知等についての条文を追加いたします。

内容としましては、第1項において、墓地等の経営の計画を周知するため、事前協議前に経営予定地に標識を設置し、その設置後に経営等の計画を周辺住民等に説明しなければならないものとし、当該標識の設置及び周辺住民への説明内容等につきまして市に報告書を提出することとします。

その後、第2項に記載がございます周辺住民等から経営等の計画について意見の申出があったときは、事前協議の申請前に協議しなければならないものとします。また、その事前協議を行ったときは、第3項になりますが、申出があった意見に対する見解を示した文書を作成し、当該申出を行った者に送付するとともに、その写しを市長へ提出しなければならないものといたします。

4点目は、13ページに記載がございますが、第5条の勧告及び第6条の公表を追加いたします。

内容は、第4条の経営等の計画の周知等と第3条の事前協議の際に、手続が適正になされていないと認めるときは、申請予定者に対し、必要な勧告をすることができるものとし、正当な理由がなく当該勧告に従わないときは、その旨を公表することができることとします。

なお、公表しようとするときは、対象となる者にその理由を通知するとともに意見を述べる機会を与えるものといたします。

続いて、5点目は、14ページに記載がございますが、第10条に許可等の通知を追加いたします。

6点目は、同じく14ページから15ページに記載がございます第11条、許可の基準の第1項第2号に「当該墓地を経営するために、十分な財産その他経済的基礎を有していると市長が認めるとき。」という条文を加えます。

7点目ですが、16ページに記載がございます第19条、経営者の責務の第1項第1号に、名義貸しを禁止とするため、墓地等の管理運営は、その経営者等が行うこととする条文を追加いたします。

最後に8点目ですが、同じく16ページに記載があります第20条に、職員による墓地等への立入調査に関する条文を新たに追加いたします。

なお、この新旧対照表には記載がございませんが、この条例の施行期日につきまして、改正後の条例の周知期間を設けるため、令和4年4月1日とするものでございます。

以上で、議案第8号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 環境課長の補足説明は終わりました。

議案第9号、議案第11号について、生涯学習課長、登壇してください。

（生涯学習課長 伊藤弘行 登壇）

○生涯学習課長（伊藤弘行） 議案第9号及び議案第11号について、補足説明を申し上げます。

本議案は、老朽化により新耐震基準に適合していない旭市民会館と旭市青年の家の機能を旭第二市民会館に移転することに伴い、条例を制定するものであります。

議案の説明に入る前に、第二市民会館の改修工事に当たっての経緯についてご説明いたします。

第二市民会館は、旭市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画により、施設の長寿命化を図るとともに、市民会館と青年の家の受け皿となる施設として、主にこれまで保健センターとして使用していました1階部分を、改正された建築基準法に基づき整備をしているところであります。

第二市民会館は、建築時、事務室として整備された施設で、今回の改修工事の設計において、建築基準法の集会施設としての構造を満たしていないことが判明いたしました。このため、1階部分は、建築基準法で規定されている不特定かつ多数の人が利用できる集会施設として貸出しができるように整備し、2階部分は、利用者が特定や人数制限のできる市主催講座または研修会・会議等で使用できるように整備することとしたものであります。

また、現在青年の家に入っております旭市地域職業相談室（ハローワーク）と旭市観光物産協会については、当該団体との協議により、改修後の第二市民会館へ移転することになりましたので、事務室として整備するものでございます。

改修後の第二市民会館については複合施設として使用することになりますので、施設の名称を「ひかた市民センター」に合わせて、平仮名の「あさひ市民センター」とする予定でござ

ございます。

それでは、議案第9号、旭市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表の18ページをお願いいたします。

旭市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例は、第2条の名称及び位置の改正になります。

来年度に駅前の旭市民会館を廃止することから、名称及び位置を削除し、「旭第二市民会館」の名称を「旭市民会館」に改めるものでございます。

次に、19ページをお願いいたします。

附則により、旭市使用料及び手数料に関する条例を一部改正いたしますが、集会施設として貸出しのできる1階部分の3部屋の名称と使用料を定めるものでございます。

なお、本条例の施行期日を令和4年4月1日からとするものでございます。

以上で、議案第9号の補足説明を終わります。

続いて、議案第11号、旭市青年の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

青年の家の機能を改修後の第二市民会館に移転することに伴い、来年度に青年の家を廃止することから、旭市青年の家の設置及び管理に関する条例を廃止するものでございます。

なお、本条例廃止に伴い、附則により、旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正と旭市使用料及び手数料に関する条例の一部改正をするものでございます。

新旧対照表の24ページをお願いいたします。

旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正は、別表第1から青年の家運営委員会委員の部分を削除するものでございます。

次に、25ページをお願いいたします。

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部改正は、別表第1その1から旭市青年の家の部分を削除するものでございます。

なお、本条例の施行期日につきましても令和4年4月1日からとするものでございます。

以上で、議案第11号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 生涯学習課長の補足説明は終わりました。

議案第10号について、体育振興課長、登壇してください。

（体育振興課長 柴 栄男 登壇）

○**体育振興課長（柴 栄男）** 議案第10号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表、20ページをお願いいたします。

飯岡庭球場の廃止に伴い、第1条で別表中、関連する部分を削除するものです。

21ページになります。

旭市サッカー場の設置に伴い、第2条で別表中、関連する部分を加えるものです。

22ページをお願いいたします。

飯岡庭球場の廃止に伴い、附則第2項により、旭市使用料及び手数料に関する条例中、別表第1の当該施設の使用料に関する部分を削除するものです。

23ページになります。

旭市サッカー場の設置に伴い、附則第3項により、旭市使用料及び手数料に関する条例中、別表第1の当該施設の使用料に関する部分を加えるものです。

なお、サッカー場使用料は、一般は1時間当たり2,000円、高校生以下は1,000円と設定いたしました。

使用料の算出根拠につきまして、年間の管理運営経費の見込み、利用者の負担割合、近隣の類似施設とのバランスなどを考慮して決定したものです。

以上で、議案第10号の補足説明を終わります。

○**議長（木内欽市）** 体育振興課長の補足説明は終わりました。

議案第12号、議案第13号について、企画政策課長、登壇してください。

（企画政策課長 小倉直志 登壇）

○**企画政策課長（小倉直志）** 議案第12号、旭市過疎地域持続的発展計画の策定について、補足説明を申し上げます。

本計画は、干潟地域の持続的発展を図るため、総合的かつ計画的な対策を実施するに当たり、過疎対策事業債などの国からの支援制度の活用が可能となることから、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法や千葉県過疎地域持続的発展方針に基づく新たな計画を策定し、議会の議決を求めるものです。

それでは、別紙の旭市過疎地域持続的発展計画をご覧いただきたいと思います。

表紙をめくっていただきまして、目次をご覧ください。

この計画は、法第8条第2項の規定に基づき、1、基本的な事項に始まり、2、移住・定住・地域間交流の促進、人材育成など、法や県の方針に掲げる分野ごとに作成をしております。

す。

1 ページをご覧ください。

1、基本的な事項においては、(1)市の概況としまして過疎の状況等を、次に、2ページになります。(2)として人口及び産業の推移と動向につきまして記載しております。次に、また、3ページになりますが、干潟地域及び市全体の人口の推移について、次の4ページにつきましては、旭市人口ビジョンについて掲載しております。

次に、5ページになります。(3)としまして行財政の状況を、次の6ページ、7ページは、これまでの決算状況と主要公共施設等の状況を記載しております。

8ページをお願いしたいと思います。

(4)の地域の持続的発展の基本方針を定めています。基本的方向として、第2期旭市総合戦略を基本に本市の持続的発展を図るものとしています。

次に、(5)の基本目標につきましては、本計画全体の目標値として、事業を総合的に実施することにより、人口ビジョンの推計を下回る減少率にとどめるとともに、人口の社会減による減少幅の縮小を目指すこととしております。

(6)計画の達成状況の評価につきましては、旭市総合戦略推進委員会の中で意見を伺うものとしております。

次に、9ページになります。(7)計画期間を令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間としております。

次に、(8)公共施設等総合管理計画との整合につきましては、同計画の3大ビジョンと基本方針を記載しております。

11ページからは、分野別に現況と問題点、その対策、旭市総合戦略や市の分野別計画に掲載している事業などからなる事業計画を記載しております。

初めに、2、移住・定住・地域間交流の促進、人材育成の現況と問題点でありますけれども、移住・定住・地域間交流の促進の必要性や、人材育成の必要性を、(2)はその対策を、12ページになりますが、(3)として事業計画を記載しております。

なお、(3)の事業計画につきましては、総務省の作成要領に基づき記載しており、計画期間中に干潟地域において想定される主な事業を計上しています。また、計画の事業名欄にあります「過疎地域持続的発展特別事業」につきましては、過疎対策事業債のソフト事業分となります。市町村の財政力等に応じた発行上限額が設定されており、本市は年間3,500万円が上限となっております。

13ページをご覧いただきたいと思います。

3、産業の振興の現況と問題点であります。農業及び商工業の振興の必要性や起業の促進、情報通信産業の育成、14ページに移りまして、観光またはレクリエーション振興の必要性を、(2)はその対策を15ページまで、16ページから19ページまでは(3)として事業計画を記載しております。

次に、(4)産業振興促進事項につきましては、法第24条の規定に基づく地方税の課税免除または不均一課税に伴う減収補填措置の適用を受ける場合に必須となる記述でございます。

干潟地域内において振興すべき業種として定められた業種の用に供する設備等を取得した者の税の課税免除または不均一課税に係るものであります。

20ページをご覧いただきたいと思います。

4の地域における情報化の現況と問題点であります。防災行政用無線施設整備の必要性を、(2)はその対策と(3)で事業計画を記載しております。

21ページをご覧いただきたいと思います。

5、交通施設の整備、交通手段の確保の現況と問題点であります。道路の整備や公共交通の維持・確保の必要性を、(2)はその対策を、22ページ、23ページには(3)として事業計画を記載しています。

24ページをご覧ください。

6、生活環境の整備の現況と問題点であります。上水道の整備や汚水処理の適正化、消防用施設や車両、公営住宅の整備、防災・防犯対策の必要性を、(2)ではその対策を26ページまで記載しております。27ページの(3)で事業計画が掲載されております。

28ページをご覧ください。

7、子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進の現況と問題点であります。児童福祉や高齢者福祉、障害者福祉、健康づくり、その他の福祉増進の必要性を29ページまで、(2)その対策につきましては30ページまで、31ページには(3)の事業計画を記載しております。

32ページをご覧ください。

8、医療の確保の現況と問題点であります。看護師の確保の必要性を、(2)その対策と(3)として事業計画を記載しております。

33ページをご覧ください。

9、教育の振興の現況と問題点であります。学校教育施設の適正配置や生涯学習、生涯

スポーツ施設整備の必要性を34ページまで、(2)にはその対策、35ページになりますけれども(3)として事業計画を掲載してございます。

36ページをご覧いただきたいと思います。

10、集落の整備の現況と問題点でありますけれども、地区集会施設の整備や空き家対策の必要性を、(2)その対策と(3)として事業計画を37ページまで記載しております。

38ページをご覧ください。

11、地域文化の振興等の現況と問題点でありますけれども、大原幽学遺跡や記念館整備の必要性を、(2)はその対策と(3)事業計画を39ページまで記載しております。

では、最後に40ページをご覧いただきたいと思います。

12項目めとして、再生可能エネルギーの利用の推進の現況と問題点であります。再生可能エネルギー導入促進の必要性を、(2)その対策と(3)事業計画を記載しています。

残る41ページ以降は、過疎対策事業債のソフト事業分の再掲となっております。

以上が、雑駁ですが、計画の概要となります。

なお、過疎対策事業債につきましては、元利償還金の70%が交付税措置されるものであり、この財政上の優遇措置を有効に活用し、干潟地域における持続可能な地域社会づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

以上で、議案第12号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第13号について補足説明を申し上げます。

議案第13号は、東総地区広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてであります。

本議案につきましては、建物の老朽化により、千葉県旭市ハの612番地の1、現在、東総振興センターと呼ばれている建物から千葉県旭市高生1番地、旭市役所海上庁舎に事務所の位置を変更することに伴う規約改正につきまして、関係地方公共団体と協議するに当たり、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものです。

なお、規約の施行日は令和4年2月1日とするものです。

以上で、議案第13号の補足説明を終わります。

○議長(木内欽市) 企画政策課長の補足説明は終わりました。

議案第16号について、市民生活課長、登壇してください。

(市民生活課長 八木幹夫 登壇)

○市民生活課長(八木幹夫) 議案第16号、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるこ

とについて、補足説明を申し上げます。

本議案は、人権擁護委員候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき議会の意見を求めるものです。

本市の人権擁護委員の定数は10名ですが、このうち1名が令和4年3月31日に任期満了となることから、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するに当たり議会の意見を求めるものです。

議案第16号で推薦したい方は、旭市後草2042番地4にお住まいの加瀬多喜男氏、昭和27年3月5日生まれの方です。

加瀬多喜男氏は、平成31年から人権擁護委員として積極的に活動されており、清廉潔白な人柄で、責任感が大変強く、委員として適任の方ですので、引き続きお願いしたいと考え、推薦するものです。

また、人権擁護委員法第7条第1項の規定による委員の欠格条項につきましては、該当する事項はありません。

なお、委員の任期は令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間となります。

以上で、議案第16号の補足説明を終わります。

○議長（木内欽市） 市民生活課長の補足説明は終わりました。

以上で議案の補足説明を終わります。

以上をもちまして本日の日程は全部終了いたしました。

○議長（木内欽市） これにて本日の会議を散会します。

なお、次回は11月12日定刻より会議を開きます。

大変ご苦労さまでございました。

散会 午前11時56分